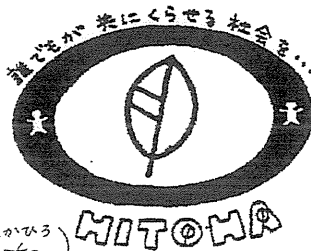


2024年(R6年)

4月

No. 382

ひと は 福 社 会



社会福祉法人 ひと は 福 社 会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホ-ム) http://hitoha-fukushi.com (メ-ル) honbu@hitoha-fukushi.com

今年(ことし)は寒暖差(かんだんさ)の大きい冬(ふゆ)でしたが、ひと(ひと)はの周辺(しゅうへん)は淡く色づいた花(はな)が咲き誇り、春(はる)を謳歌(おうか)しています。進級(しんきゅう)、進学(しんがく)、新生活(しんせいかつ)とあわただしい年度(ねんど)始め(はじめ)をお過(おと)ごしのこと(こと)と思(おも)います。

先日(せんじつ)、ひと(ひと)はの児童支援部(じどうしえんぶ)の利用(りよう)を経て、地域(ちいき)の一般企業(いぱんきぎょう)に就労(しゅうらう)している元利用(もとりよう)児童(じどう)を対象(たいしょう)とした「地域(ちいき)で働く仲間(なかま)の集い(つどい)」を初め(はじめて)開催(かいさい)しました。保育園(ほいくえん)の年少(ねんしょう)さん、小学校(しょうがっこう)低学年(ていがくねん)の時に会(あ)った元利用(もとりよう)児童(じどう)たち(たち)も、すでに成人期(せいじんき)を迎(むか)えています。昨秋(せきゅう)、地域(ちいき)の企業(きぎょう)に就職(しゅうしん)したNさん(にさん)にたまたま出(で)会い、余暇(あまじか)の過(お)ごし方(かた)を問(と)うと、「(は)ぼ家(か)で家族(かぞく)と過(お)ごしているとの回(か)答(た)に、社会人(しゃかいじん)になれ(な)ば余暇(あまじか)の充(み)実(じつ)」、仲間(なかま)とのつな(つ)がり作(さ)りが一層(いちじょう)必要(ひつやう)になると感(かん)じて会(かい)を催(もよほ)した次(つぎ)第(だい)です。

5名(ごまい)の元子(もとこ)どもたち(たち)とスタッフ(スタッフ)有志(ゆうし)の総勢(そうせい)9名(ごまい)で、昼食(ひるめし)の鍋(なべ)をつつきながら近(きん)況(きやう)を報(ほう)告(こく)し合(あ)いました。それぞ(それぞ)れの職(しやく)場(ば)で職(しやく)責(せき)を全(ぜん)うしている口(くち)ぶり(ぶり)から、たくま(たくま)しく成(せい)長(ちやう)している姿(すがた)に感(かん)概(がい)深(ふか)いもの(もの)が有(あ)りました。

企業(きぎょう)は働(はたら)く場(ば)であり、仲(な)かまづくり(づくり)を可(か)する場(ば)で(で)はあ(あ)りませ(ませ)ん。福(ふ)利(り)厚(こう)生(せい)を除(のぞ)きアフター(アフター)ファイブ(ファイブ)余暇(あまじか)につい(つ)いては(は)ぼ(ぼ)ノタ(タ)ッチ(ッチ)で、従(じゆう)業(ぎやう)者(しゃ)個(こ)々(ざ)人(にん)に委(ま)ねら(ら)れてい(い)ます。人(ひと)は人(ひと)と人(ひと)とが(が)つな(つ)がりあ(あ)い、多(た)く様(やう)な属(ぞく)性(せい)に身(み)を置(お)くこと(こと)で人(にん)間的(てんてき)な生(せい)活(かつ)にな(な)るもの(もの)と思(おも)います。

自治会(じちかい)き(き)ららの仲(な)かま(ま)たち(ち)と子(こ)ども(も)たち(ち)の活(かつ)動(どう)を通(とお)して、地(ち)域(いき)と(と)の交(こう)流(りゅう)、ひと(ひと)は(は)の文(ぶん)化(か)の発(はつ)信(しん)と、人(ひと)と人(ひと)と(と)のつな(つ)がりあ(あ)い(い)を大(だい)切(せつ)に可(か)る39(さんじゅうきゅう)年(ねん)目(め)を迎(むか)えたい(たい)と思(おも)います。
(理事長 佐竹 正充)

《御下賜金(ごげんぎん)拝受(がいじゆう)のご報(ほう)告(こく)》
このた(た)び、共(きょう)同(どう)ホ-ム(ム)・ひと(ひと)は(は)作(さく)業(ぎやう)所(じよ)が、優(ゆう)良(りやう)民(みん)間(かん)社(しゃ)会(かい)福(ふ)祉(し)事(じ)業(ぎやう)として、天(てん)皇(こう)陛(へい)下(げ)よ(よ)り御(ご)下(げ)賜(み)金(ぎん)を拜(がい)受(じゆう)いた(いた)しました。開(かい)所(じよ)以(い)来(らい)、後(こう)援(えん)会(かい)、地(ち)域(いき)、自(じ)治(ち)会(かい)き(き)らら、ひと(ひと)は(は)の皆(みな)様(やう)と(と)の協(きょう)働(らう)に(に)よ(よ)り、誰(たれ)も(も)が共(とも)に暮(く)ら(ら)せる社(しゃ)会(かい)づ(づ)くり(り)の取(と)り組(ぐ)み(み)が評(ひやう)価(か)され(ら)れたもの(もの)と感(かん)謝(しゃ)いた(いた)します。

令和(れいわ)6年(ねん)2月(がつ)26日(にち) 貞(まこと)近(ちか)幸(ゆき)夫(と)さん(さん)が(が)お(お)亡(な)くなり(なり)に(に)な(な)りました。共(きょう)同(どう)ホ-ム(ム)に(に)入(い)所(じよ)し、農(のう)園(えん)で活(かつ)動(どう)され(ら)れてい(い)ました。

初(はじめて)め(め)て(て)会(あ)った(た)とき(き)の貞(まこと)近(ちか)さん(さん)は60(むじゅう)代(だい)後(こう)半(はん)で(で)した(した)が、今(いま)と変(か)わら(ら)ない(ない)風(かぜ)貌(ぼう)で(で)した(した)。「若(わか)いて(いて)す(す)ね」と言(い)う(う)と、目(め)が(が)あ(あ)まり(り)見(み)え(え)ない(ない)に(に)も(も)か(か)わ(わ)ら(ら)ず(ず)飛(と)ん(ん)だ(だ)り(り)走(はし)っ(っ)たり(り)見(み)せ(せ)て(て)く(く)だ(だ)さ(さ)い(い)ました。それ(それ)から(から)10(じゅう)年(ねん)後(こう)の(の)ひと(ひと)は(は)農(のう)園(えん)を立(た)ち上(あ)げ(げ)た(た)時(とき)の初(はじめて)期(き)のメ(メ)ン(ン)バ(バ)ー(ー)に(に)な(な)り、ず(ず)と私(わたし)を支(さ)え(え)て(て)く(く)れ(れ)ま(ま)した(した)30(さんじゅう)年(ねん)放(はな)置(ち)して(して)あ(あ)った(た)ジ(ジ)ャ(ャ)ン(ン)グ(グ)ル(ル)を鋸(のこぎり)鎌(かま)1(いち)本(ぽん)で(で)綺(きれい)麗(れい)に(に)さ(さ)れ、2(に)m(メートル)近(ちか)く(く)あ(あ)った(た)笹(ささ)や(や)い(い)ば(ば)ら(ら)のつ(つ)る(る)を(を)取(と)り(り)除(のぞ)いて(いて)く(く)れ(れ)た(た)お(お)か(か)げ(げ)で、



(撮影: 貞近 幸夫)

そ(そ)に(に)鹿(しか)柵(さく)を(を)立(た)てる(てる)こと(こと)が(が)でき(き)ました(した)。私(わたし)の父(ちち)が(が)せ(せ)く(く)な(な)った(た)時(とき)は「お(お)父(ちち)さん(さん)と(と)同(どう)い(い)年(ねん)じ(じ)ゃ(ゃ)け(け)ー(ー)わ(わ)し(し)が(が)代(た)わり(り)を(を)し(し)ち(ち)め(め)る(る)よ(よ)」と(と)言(い)って(て)く(く)だ(だ)さ(さ)り、父(ちち)と(と)同(どう)じ(じ)ょう(じょう)に(に)私(わたし)の(の)せ(せ)り(り)たい(たい)こと(こと)を(を)黙(だま)って(て)手(て)伝(でん)わ(わ)って(て)く(く)れ(れ)て(て)い(い)ま(ま)した(した)。単(たん)前(ぜん)生(せい)ま(ま)れ(れ)て(て)経(けい)済(さい)的(てき)にも(も)身(み)体(たい)的(てき)にも(も)不(ふ)自(じ)由(ゆう)で(で)理(り)不(ふ)尽(じん)な(な)目(め)に(に)たく(たく)さん(さん)遭(あ)わ(わ)れ(れ)て(て)い(い)た(た)に(に)も(も)か(か)わ(わ)ら(ら)ず(ず)、ど(ど)う(う)して(して)そ(そ)んな(んな)に(に)人(ひと)に(に)優(やさ)しく(く)でき(き)た(た)の(の)です(す)か? い(い)つ(つ)も(も)平(へい)和(わ)を(を)願(ねが)い(い)皆(みな)に(に)優(やさ)しい(い)貞(まこと)近(ちか)さん(さん)の(の)思(おも)い(い)を(を)こ(こ)れ(れ)か(か)ら(ら)も(も)ひと(ひと)は(は)で(で)受(う)け(け)継(つ)いで(いで)い(い)き(き)ま(ま)す。本(ほん)当(たう)に(に)あ(あ)り(り)が(が)た(た)う(う)ご(ご)ざ(ざ)い(い)ま(ま)した(した)。(丸(まる)岡(おか) 洋(やう)二(に))

今(いま)月(げつ)号(ごう)か(か)ら(ら)の(の)題(だい)字(じ)は(は)就(しゅう)労(らう)セ(セ)ン(ン)ター(ター)あ(あ)る(る)石(いし)田(た)孝(こう)弘(こう)さん(さん)が(が)書(か)け(け)られた(た)もの(もの)です。ア(ア)グ(グ)リ(リ)で(で)の(の)活(かつ)動(どう)を(を)終(お)え、作(さく)業(ぎやう)所(じよ)フ(フ)ロ(ロ)ア(ア)で(で)く(く)つ(つ)ろ(ろ)い(い)て(て)い(い)る(る)石(いし)田(た)さん(さん)に(に)「ひと(ひと)は(は)フ(フ)ウ(ウ)シ(シ)ン(ン)ッ(ッ)て(て)書(か)いて(いて)も(も)ら(ら)え(え)ま(ま)す(す)か?」と(と)お(お)願(ねが)い(い)可(か)ると、た(た)ん(ん)と(と)ロー(ろ)マ(マ)字(じ)か(か)で(で)平(へい)仮(か)名(な)で(で)書(か)いて(いて)も(も)ら(ら)え(え)ま(ま)す(す)か?と(と)言(い)う(う)も、書(か)け(け)られた(た)の(の)は(は)ロー(ろ)マ(マ)字(じ)で(で)した(した)す(す)ご(ご)い(い)!と(と)し(し)か(か)言(い)い(い)ま(ま)う(う)が(が)あ(あ)り(り)ませ(ませ)ん。(竹(たけ)内(うち) 宏(こう)美(み))

さ(さ)だ(だ)さん(さん)の(の)ケ(ケ)ース(ース)を(を)約(やく)2(に)年(ねん)間(かん)務(む)め(め)さ(さ)せて(て)も(も)ら(ら)い(い)私(わたし)ら(ら)90(きゅうじゅう)歳(さい)を(を)過(か)ぎ(ぎ)て(て)い(い)る(る)とは(とは)思(おも)え(え)ない(ない)王(おう)道(だう)の(の)パ(パ)ワ(ワ)フル(フル)な(な)さ(さ)だ(だ)さん(さん)。「100(ひゃく)歳(さい)ま(ま)で(で)頑(がん)張(ば)り(り)ま(ま)す(す)」と(と)手(て)紙(し)を(を)く(く)れ(れ)た(た)さ(さ)だ(だ)さん(さん)。「わ(わ)し(し)は(は)元(げん)気(き)で(で)」と(と)前(ぜん)屈(くつ)を(を)見(み)せ(せ)て(て)く(く)れ(れ)た(た)り、車(くるま)椅子(いす)に(に)座(ざ)り(り)な(な)が(が)ら(ら)も(も)足(あし)を(を)高(たか)く(く)上(あ)げ(げ)たり。1(いち)日(にち)7(しち)本(ぽん)の(の)タ(タ)バ(バ)コ(コ)を(を)幸(さい)せ(せ)そ(そ)う(う)に(に)味(あじ)わ(わ)って(て)お(お)り、保(ほ)佐(さ)人(にん)の(の)大(だい)崎(さき)さん(さん)が(が)来(き)ら(ら)れた(た)時(とき)は、「内(ない)緒(じょ)よ(よ)」と(と)プ(プ)ラ(ラ)ス(ス)で(で)1(いち)本(ぽん)も(も)ら(ら)っ(っ)て(て)い(い)る(る)時(とき)の(の)満(まん)面(めん)の(の)笑(わら)み(み)、喫(くつ)煙(えん)所(じよ)に(に)向(むか)う(う)姿(すがた)を(を)今(いま)も(も)鮮(せん)明(めい)に(に)覚(さ)えて(て)い(い)ま(ま)す。体(たい)調(てう)を(を)崩(くず)して(て)から(ら)大(だい)好(こう)き(き)な(な)タ(タ)バ(バ)コ(コ)も(も)吸(す)え(え)ず(ず)だ(だ)った(た)ので(で)、今(いま)、満(まん)面(めん)の(の)笑(わら)み(み)で(で)吸(す)っ(っ)て(て)お(お)ら(ら)れる(る)だ(だ)ら(ら)う(う)な(な)。

お(お)お(お)い(い)な(な)声(こゑ)で(で)「わ(わ)い(い)は(は)元(げん)気(き)で(で)」と(と)聞(き)こ(こ)え(え)て(て)く(く)る(る)や(や)う(う)な(な)気(き)が(が)し(し)ま(ま)す。(笹(ささ)川(がわ) 琴(こと)未(み))
100(ひゃく)歳(さい)ま(ま)で(で)分(ぶん)は(は)じ(じ)り(り)お(お)お(お)い(い)な(な)貞(まこと)近(ちか)さん(さん)
3(さん)年(ねん)前(ぜん)ぐ(ぐ)ら(ら)い(い)の(の)手(て)紙(し)お(お)お(お)い(い)な(な)

「僕のこと書いて」

岡田さんはかりんとうを切るとき、必ず「上手に切れたね」と私のことではなく自分

のことを褒める。本当に上手に切っています。

岡田「長岡さんおはよう。頑張ろっ」

長岡「おはよう」

時には「元気出して、僕がついてるよ」と励まされることも。

帰りの会の後はコップを洗い、タオルと手拭き干しを毎日。

岡田「長岡さんさようなら、気を付けて」

長岡「気を付けてね」

毎日助けられているよ。

(上手に書けず、ごめんね)

(就労センターあ、ぶ 長岡 逸子)

「一緒になっ、て〇〇」

一年また一年とあ、という間に過ぎたこの二年間。私はきらりと接する中で「どう

してその行動をするのだろうか？」と疑問に思い、一緒になっ、て... 司馬さんが「頑張って

遊ぶ時に私も遊んでみると、泥んこになりながら「落ち着く〜」とつい言葉が漏れてしま

いました。また、玄関先で増長さんと一緒に寝転んで「暖かいなあ〜」「ずと寝ときたい

のお〜」と言いながら日向ぼっこをすることもあります。

(ひとし作業所 渡里 一真)

「目が合、て」

外の落ち葉を掃いていました。うっかりしていた私はちりとりを忘れてしまい、ほうきを

置いたまま慌て取りに行き、戻ると三輪さんが「ほうきを片づけよう...」。ちりとりを

持った私と目が合うと、三輪さんは集まった落ち葉の方に体の向きを変えました。その

姿を見て、掃いてほしいとお願ひすると、快く掃いてくれました。

寒かった朝、心がほっと温かくなったそんな出来事でした。

(事務局 岡川 智美)

「ひとしは40周年を前に」

1985(昭和60)年、向原町戸島で民家を借りて出発した「ひとし

作業所」。マスキングテープ(塗装用の養生テープ)を巻く作業を見に

行ったことを覚えている。

それから8年の月日が流れ、長田の作業所に2歳半の娘を連れて

子連れ出勤が始まった。無認可作業所では、ハーネス(電線をつなぎ

合わせる)作業、陶芸の作業をしていた。皆の月漆に抱っこされながら娘は

「フチッ」と音がする作業を楽しみ、粘土をくるくる丸めてはお雛様を作り

仲間の一員になっていた。土曜日には、近所のお茶の先生を迎え「お茶会

をして、その後はカラオケで大盛り上がり。

♪虹の向こうは〜 「玲二！」(かけ声) ♪ 笑い声がひびく。

仲間の誕生日には、向原のいつものボランティアさんが花束を持って訪

ねてきてくださり、一緒に楽しいひとし時。振り返ってみれば、とにかく笑い声

がよく響いていた作業所だった。

つい先日、寺尾順子さんからメールが来た。「戸島の旧ひとしは取り崩

されてました。」文面から寂しさを感じた。戸島での思い出を大切に

したい。(伊藤 千代子)



カラオケの様子

編
集
後
記

新年度になるにあたって、利用する子どもたちの写真も毎年新しく貼り

替える。1年前に撮った写真だが、ずいぶん大きく見え、顔つきの変

わりように子どもにととの1年間の大きさを実感する。私も経

験してきたはずなのに、大人になるとあ、という間に1年が過ぎて

いくので忘れそうになる。先日ひとしで重廣さんに会った時「全然顔を

見せてくれん」と言われた。「この間新年会で会ったばかりじゃないですか」

と返事をしながら、新年会ってもう2か月前だ、とハッとされた。(白井 くみこ)